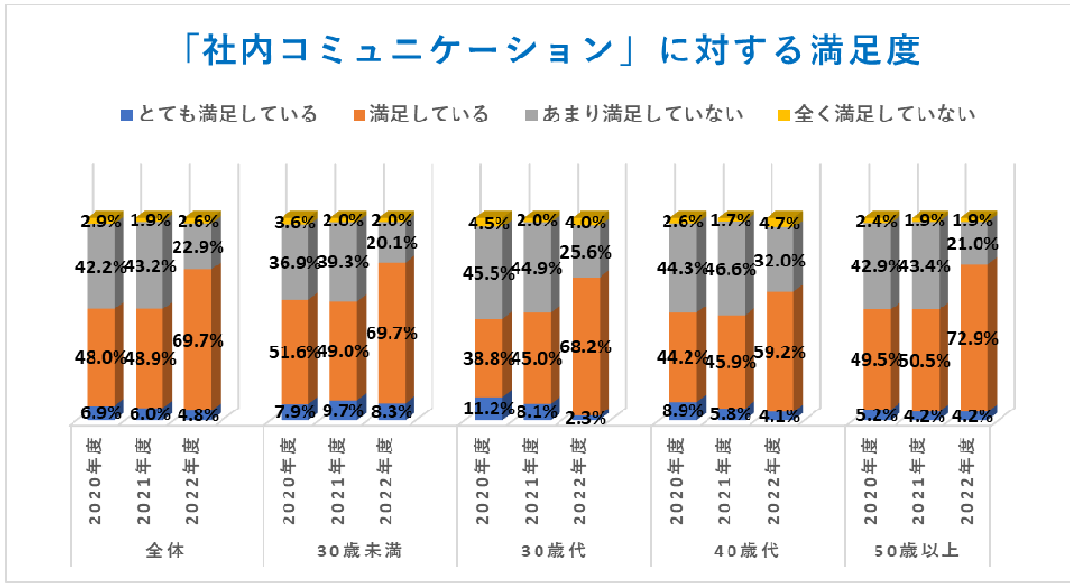


②「社内コミュニケーション」に対する満足度

◆『私は社内コミュニケーションの状況について満足している』従業員の割合～アンケート調査結果より

「社内コミュニケーションの活性化」は従業員の心身の健康に良い影響を与えることは言うまでもなく、社内コミュニケーションによって築かれる信頼関係は、生産性やモチベーションの向上に大きく繋がります。社内コミュニケーションは組織を運営していくうえで欠かせないものです。



		全体	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳以上
満足している ・とても満足している ・満足している	2020年度	54.9%	59.5%	50.0%	53.1%	54.7%
	2021年度	54.9%	58.7%	53.1%	51.7%	54.7%
	2022年度	74.5%	78.0%	70.5%	63.3%	77.1%
満足していない ・あまり満足していない ・全く満足していない	2020年度	45.1%	40.5%	50.0%	46.9%	45.3%
	2021年度	45.1%	41.3%	46.9%	48.3%	45.3%
	2022年度	25.5%	22.0%	29.5%	36.7%	22.9%

当社は「社内コミュニケーションの充実」を経営方針として、社長自らがその大切さを随時発信するとともに、各年代層における段階的な「人間力研修」（初級～上級）を通じてコミュニケーション力の向上を図っています。現状の調査結果としては、過半数の従業員が「社内コミュニケーション」に満足している状況を示していますが、特に若きリーダーとしての役割を期待する30～40代従業員の満足度が他の年代に比べて低い状況もあり、すべての従業員がコミュニケーションの充実に意識し、行動するように、発信・研修の実施や機会創出等の施策を継続的に実施してまいります。